

漫画家生活30周年

こうの史代展

鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、
走ってこけて、長い道のり



2026年

1/4(日) ▶ 3/8(日)

開館時間：10:00—20:00（入場は19:30まで） 火曜休館

会 場：熊本市現代美術館ギャラリーⅠ・Ⅱ

観 覧 料：一般 1,300円 [1,100円] / シニア(65歳以上) 1,000円 [800円]、

学生 800円 [600円]、中学生以下無料

※各種障害者手帳をご提示の方と付き添いの方 1名無料（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳等）

※[]内は前売り／20名以上の団体／電車・バス1日乗車券等を提示の料金

※うえるかむバスポートをご提示の方は無料

《描く人》© こうの史代

主催：熊本市現代美術館（熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団）、熊本日日新聞社、KKTくもと県民テレビ
後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本県教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、

熊本国際観光コンベンション協会、J:COM 熊本、エフエム熊本、FM791

協力：呉市立美術館、コアミックス、朝日新聞出版、日本文芸社、平凡社 企画：青幻舎プロモーション 監修：福永信

熊本市現代美術館
Contemporary Art Museum, Kumamoto

漫画原画500枚以上!

カラーイラスト、
挿絵原画、絵本原画、
資料等も多数展示!



《夕凪の街 桜の国》カバーイラスト(部分)、2004年
© こうの史代／コアミックス

『夕凪の街 桜の国』(手塚治虫文化賞新生賞、文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞)

『この世界の片隅に』(文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞)で知られる、 こうの史代の全貌に迫る初の大規模原画展ついに開催!



《かっぱのねねこ》2018年
© こうの史代／朝日新聞出版

もちろん、それは到達点ではありません。こうの史代はさらに先へ進みます。漫画という表現に、誰よりも強い好奇心を持つているからです。

非凡なアイデア満載の『平凡俱楽部』(2006-2010)で読者を驚かせたかと思えば、「ぼおるべん古事記」(2011-2012)ではボールペンだけで「古事記」を忠実に漫画化しました。東日本大震災の翌年から連載を開始した『日の鳥』(2011-)は、妻を探す雄鶏の目を借りて、移りゆく時の流れをスケッチしています。

漫符を素材にした画期的な漫画『図鑑』『ギガタウン漫符図譜』(2015-2017)、「百人一首」と遊んだ華麗なカラー「ママ漫画」『百人一首akioichi』(2018-2020)、「般若心経」を「ロナ禍と重ね、2色の線が絡み合う最新長編『空色心経』(2021-2025)など、新しい漫画の可能性へ向けて、挑戦は続きます。

こうの史代の特徴として、アシスタントを使つていなことが挙げられます。そのため、どの線にも彼女の気持ちがこもっています。たった一人で描いた「一枚の絵」として原画を見ることで、これまで気づかなかつた線の魅力、色の力を感じていただけのことでしょう。

本展では、10代の時の作品から最新作まで、500枚以上の漫画原画を展示します。そのほかデビュー以前の貴重な資料の数々、膨大な挿絵原画、絵本原画、ブログ「このの日々」に登場するスケッチブック、執筆風景を記録した初公開の映像など、圧巻の展示数でこうの史代の歩いた道のりをたどります。

なお、2025年9月から連載が始まつたばかりの「かぐやサン」の原画や、コインテなども、この熊本会場から展示を開催いたします。楽しみに待っていてくださいね!

もちろん、それは到達点ではありません。こうの史代はさらに先へ進みます。漫画という表現に、誰よりも強い好奇心を持つているからです。

非凡なアイデア満載の『平凡俱楽部』(2006-2010)で読者を驚かせたかと思えば、「ぼおるべん古事記」(2011-2012)ではボールペンだけで「古事記」を忠実に漫画化しました。東日本大震災の翌年から連載を開始した『日の鳥』(2011-)は、妻を探す雄鶏の目を借りて、移りゆく時の流れをスケッチしています。

漫符を素材にした画期的な漫画『図鑑』『ギガタウン漫符図譜』(2015-2017)、「百人一首」と遊んだ華麗なカラー「ママ漫画」『百人一首akioichi』(2018-2020)、「般若心経」を「ロナ禍と重ね、2色の線が絡み合う最新長編『空色心経』(2021-2025)など、新しい漫画の可能性へ向けて、挑戦は続きます。

こうの史代の特徴として、アシスタントを使つていなことが挙げられます。そのため、どの線にも彼女の気持ちがこもっています。たった一人で描いた「一枚の絵」として原画を見ることで、これまで気づかなかつた線の魅力、色の力を感じていただけのことでしょう。

本展では、10代の時の作品から最新作まで、500枚以上の漫画原画を展示します。そのほかデビュー以前の貴重な資料の数々、膨大な挿絵原画、絵本原画、ブログ「このの日々」に登場するスケッチブック、執筆風景を記録した初公開の映像など、圧巻の展示数でこうの史代の歩いた道のりをたどります。

なお、2025年9月から連載が始まつたばかりの「かぐやサン」の原画や、コインテなども、この熊本会場から展示を開催いたします。楽しみに待っていてくださいね!

こうの史代(一九六八年-)は、漫画というフレームで、実際に多彩な表現活動をしてきました。お花屋さんが舞台のコミカルなショートストーリー連載「街角花だより」(一九九五)でデビューし、インコとの日常を描く4コマ漫画『びっぴら帳』(一九九七-二〇〇四)で人気を博します。ニワトリと少女のユニークな日々を綴った『こつこさん』(一九九九-二〇〇〇)も忘れることはできません。命あるものと共に生きる日常を見つめたこれら初期作品の世界観があつて、『夕凪の街 桜の国』(二〇〇三-二〇〇四)、「この世界の片隅に」(二〇〇六-二〇〇九)へつながっていくことになります。

もちろん、それは到達点ではありません。こうの史代はさらに先へ進みます。漫画という表現に、誰よりも強い好奇心を持つているからです。

非凡なアイデア満載の『平凡俱楽部』(2006-2010)で読者を驚かせたかと思えば、「ぼおるべん古事記」(2011-2012)ではボールペンだけで「古事記」を忠実に漫画化しました。東日本大震災の翌年から連載を開始した『日の鳥』(2011-)は、妻を探す雄鶏の目を借りて、移りゆく時の流れをスケッチしています。

漫符を素材にした画期的な漫画『図鑑』『ギガタウン漫符図譜』(2015-2017)、「百人一首」と遊んだ華麗なカラー「ママ漫画」『百人一首akioichi』(2018-2020)、「般若心経」を「ロナ禍と重ね、2色の線が絡み合う最新長編『空色心経』(2021-2025)など、新しい漫画の可能性へ向けて、挑戦は続きます。

こうの史代の特徴として、アシスタントを使つていなことが挙げられます。そのため、どの線にも彼女の気持ちがこもっています。たった一人で描いた「一枚の絵」として原画を見ることで、これまで気づかなかつた線の魅力、色の力を感じていただけのことでしょう。

本展では、10代の時の作品から最新作まで、500枚以上の漫画原画を展示します。そのほかデビュー以前の貴重な資料の数々、膨大な挿絵原画、絵本原画、ブログ「このの日々」に登場するスケッチブック、執筆風景を記録した初公開の映像など、圧巻の展示数でこうの史代の歩いた道のりをたどります。

なお、2025年9月から連載が始まつたばかりの「かぐやサン」の原画や、コインテなども、この熊本会場から展示を開催いたします。楽しみに待っていてくださいね!

こうの史代

1968年広島市生まれ。広島大学中退、放送大学卒。1995年に漫画家デビュー。『長い道』『さんさん録』『空色心経』など作品多数。『夕凪の街 桜の国』で多くの読者に感動をもたらす。アニメーション映画『この世界の片隅に』(監督片渕須直)が大ヒットを記録。最新刊に『ヒジヤマさん 星の音 森のうた こうの史代短編集』。ブログ「こうの日々」では日々の写真やスケッチを公開している。



《この世界の片隅に》2007年 © こうの史代／コアミックス

WEEKLY漫画アクション新人賞募集イラスト、1992年 © こうの史代

関連企画

月曜ロードショー こうの史代セレクション

熊本市現代美術館の月曜ロードショーにて、こうのさんが選んだ作品を上映します。

日 程：2026年1月5日、12日、19日、2月2日、9日、16日、23日、3月2日、9日

時 間：各日 ①14:00—②17:00—

※終了時間は上映作品によって異なります

会 場：アートロフト

定 員：90名(当日先着順) 参加無料

*上映作品は美術館のホームページでお知らせします

G3-Vol.163 CAMK コレクション こうの史代セレクション

熊本市現代美術館の収蔵作品の中から、こうのさんが気になる作品を集めた展示です。

会 期：2026年1月15日(木)-3月15日(日)
(美術館の開館日時に準じます)

会 場：熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ
観覧無料

関連イベント

こうのさんがおはなしするよ! オープニング記念トーク

こうのさんが漫画のこと、日々の暮らしのことをお話しします。

出 演：こうの史代(漫画家)、
福永信(本展監修者／小説家)

日 程：2026年1月4日(日)

時 間：13:00-14:00

会 場：ホームギャラリー

定 員：80名(当日先着順)

参加無料

こうのさんが ライブペインティングをするよ!

展覧会場内で絵を描いています。13時頃から描いている予定です。少し早かったり遅く描き始めたりするかも。休憩もするのでないときもあります。

日 程：2026年1月5日(月)
時 間：13:00頃-17:00頃(予定)

こうのさんの 一日マンガ寺子屋!

こうのさんを講師として迎え、熊本の民謡「おてもやん」の漫画を描く1日講座です。漫画を描いている人、かつて漫画を描いていた人、漫画を描いてみたい人、大歓迎です。

日 程：2026年2月14日(土)

時 間：10:30-18:30

会 場：キッズファクトリー

定 員：15名

(要予約/定員を超えた場合は抽選)

対象年齢：中学生以上

参 加 費：1人 1000円(材料費等)

展覧会場の壁に、こうのさんと一緒にラクガキをしちゃうワークショップです。会期中はラクガキも展示の一部になります。

日 程：2026年2月15日(日)

時 間：10:30-12:00

集合場所：展覧会場入口

定 員：20名

(要予約/定員を超えた場合は抽選)

対象年齢：小学生以上

(小学生は保護者の同伴が必要です)

参 加 費：1人 500円
(現状復帰代として)

参 加 費：1人 500円
(現状復帰代として)